

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第173号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年11月28日 16時00分ごろ	
発生場所	鹿児島県鹿児島郡十島臥蛇島の南3海里付近 （概位 北緯29°50.5′ 東経129°32.5′）	
事故等調査の経過	平成21年12月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等</p> <p>漁船 ^{につかい}日海丸、19トン EH2-8735（漁船登録番号）、個人所有 かつお一本つり漁業 ディーゼル1基（589kW）、平成15年3月1日進水</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	主機の逆転減速機の油圧ポンプに損傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか9人が乗り組み、操業海域で操業中、平成21年11月28日16時00分ごろ、臥蛇島の南方沖で、突然、主機の減速逆転機（以下「減速逆転機」という。）が操作不能となった。</p> <p>本船は、船長が、機関室に赴いて点検等を行ったものの、不具合箇所を発見することができなかつたため、海上保安部に連絡し、巡視船にえい航されて鹿児島港に帰港した。</p> <p>本船は、乗組員が本件主機取扱業者の指示のもと再点検した結果、減速逆転機の油圧ポンプが損傷していることが判明し、交換して修理された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北西、風速 約5m/s、視程 良好</p> <p>海象：波高 約1m</p>	
その他の事項	<p>減速逆転機の油圧ポンプは、歯車軸のベアリングが損傷し、同軸の納まるケーシング部が削れていた。</p> <p>船長は、出航前に減速逆転機の潤滑油の量及び性状を点検するとともに、年1回同潤滑油の新替を行っていた。</p> <p>出港前の点検では異常は認められなかつた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は臥蛇島の南方沖を航行中、減速逆転機が、油圧ポンプが損傷して油圧が上がらなくなったことにより、操縦不能になったと考えられる。 油圧ポンプが損傷した状況については明らかにすることはできなかった。</p>
原因	本インシデントは、本船が臥蛇島の南方沖を航行中、減速逆転機の油圧ポンプが損傷したため、減速逆転機が操縦不能となったことより、発生し	

	たものと考えられる。
--	------------